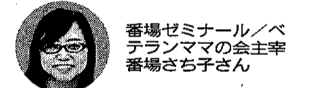


3・11後 を生きる

心に不調の学生 支える

大震災直後、屋内退避命令が出され、右往左往していた福島県南相馬市の若いママたちの相談に乗るべく、「ベテランママの会」はひょっこり誕生しました。ほどなくして、東京大学医学研究所の坪倉正治医師と知り合い、「放射能の正しい勉強会」を坪倉先生の協力のもと始めました。これまでに南相馬や東京、名古屋などで四十人以上、延べ千五百人以上が参加し、放射能と共存するための知識を得ています。

大震災から一年が経過した頃から、周囲を見回すと、うつっぽい症状の



ナール／ベテランママの会主宰 西子さち子さん



「お母さんから元気に」 支援の手糸に触るという間に広がりました。今までも、皆さんが製菓、不安いっけいの毎日作られた作品の展示即売会に、ほんの少しの癒やしも行い、順調な活動を展の空間が提供できれば開いています。写真、ニッパだけなら、フ

お母さんから元気に

人が目につくようになり、というアメリカの女性と知りました。せつなく帰って、知り合いました。アミアキタ住民が、楽しく暮らすの提案で、大船渡のせむせむは何をしたら、ニッパカフェを見学に行きたいかと思案していた。かがい、南相馬でも開設しよう、岩手県大船渡市で、しました。

「支援の手糸に触るという間に広がりました。今までも、皆さんが製菓、不安いっけいの毎日作られた作品の展示即売会に、ほんの少しの癒やしも行い、順調な活動を展の空間が提供できれば開いています。写真、ニッパだけなら、フ

ついでです。家族が元気になるには、まずはお母さんが元気にならなくてはならないから。津波や警戒区域など、一瞬にして家を失くす、忘れられる、とか、仮設住宅や借り上げ住宅で近所との付き合いもままならない高年齢者、あつとしました。家族がバラバラになり、孤独感と絶望、不安いっけいの毎日作られた作品の展示即売会に、ほんの少しの癒やしも行い、順調な活動を展の空間が提供できれば開いています。写真、ニッパだけなら、フ

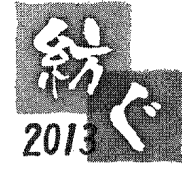
大学生らと学校や働く場をつなぐ。理事長の高橋由佳さん(49)は「学び、働くことが心の糧になる」と、将来を担う若者を支えることで、地域全体の復興を目指す。(原尚子)



カウンセリングを受ける来所者＝仙台市の「スイッチ」で

NPO学び、働く場につなぐ

スイッチの設立は東日本大震災から三月後の二〇一一年六月。ボランティアで訪れていた南二陸町で、避難所から毎日職場に通う男性に津



「スイッチ」の高橋由佳さん

波で家族を亡くしたが、仕事があるから生きていく」と聞いたのがきっかけだった。精神保健福祉士でもある高橋さんは「被災者の中から心を病む人が必ず出てくる。サポートの場を作らない」と考えた。

高橋さんは三年前、山など未舗装の道を走るモトクロスレースの一種「エンテューロリス」の練習中に転倒、大股骨折を複数骨折して三月月入働くとすると、みんなに迷

「障害者手帳を持ち、公的支援を受けられる人ばかりではない。そういつ人にも支援の仕組みが必要なんです」

震災後、石巻や東松島の仮設住宅を訪問し精神面の相談に乗っていた際、若者が危ないと感じた。家を流され、職を失った親がアルコール依存症やDVの問題を抱えるため、仮設住宅に帰らなくなる生徒、引きこもり、中退のほか、高卒後、復員需要に応えて急いで就職したものの、職種が合わず辞めてしまいう生徒もいるのを聞いた。

「一人で我慢してしまったりはしたくない。若者支援の機関を作らなく」と、「石巻NOTE」の開設を決意した。

支援を必要としている若者の数や状況を把握するため、地元や大学、高校などと連携。大学の学生相談室や就職課と連携・就職相談を行ったり、高校生の地元企業へのインターンシップを仲介するなどして、若者を学びや働く場につなげる活動を目指している。

高橋さんは「早期介入、早期支援が大切」という。「学生時代に心に不調をきたした支援の手がなく精神疾患に至るケースが多い。適切なケアを受け、仕事をこなさなければ、病気になる。復員には若い人が必要ですから」

ビデオは語る



吉田昌郎福島第一「(午前)四時になり手がピット(立て坑)がきておりません。の機への注入は、もうちょっと水がたまのを待ちたい」とオフサイトセンター(C)武蔵栄副社長「水位をうやうやして見ての。」

吉田人間が見てただけだから下まで水位が下がって3号機はギリギリ(ポン)で冷却水が吸えるんです。それでももう底ギリギリ。水れても増えない状態

武蔵「吸えてない?」

吉田「2号機はインサース(冷却水の吸い上げ)はきつけれど、ピットの液減を止めないといけない(うやうや)」

武蔵「カラカラになったインサース空回したら、壊したいさうだね。ぶっ壊すの最悪だな」

第一社員「壊れる寸前くらいでした」

本店社員「役所(原田全、保安院)から聞かれてる(と)関係ある内容が

「手から手へ」展

